

2022. 3. 11

報道関係者 各位

&lt; 配信枚数2枚 &gt;

**琵琶湖・環境イノベーション研究センター オンラインセミナー**  
**「琵琶湖・環境イノベーション研究センターからの実装に向けたシーズ発信」開催**  
**日 時：2022年3月23日（水）14：00～16：30**  
**開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）**

立命館大学琵琶湖・環境イノベーション研究センターは、3月23日（水）、「琵琶湖・環境イノベーション研究センターからの実装に向けたシーズ発信」と題したセミナーをオンラインで開催いたします。

琵琶湖は、古来より「近畿地方の水瓶」と形容され、極めて貴重な水圏環境を形成しています。しかし、琵琶湖を取り巻く環境は、「森林の荒廃による多面的機能の低下」、「鹿やイノシシなどによる獣害」、さらには「琵琶湖と暮らしの関わりの希薄化」などにより、周囲の環境に多くの課題が生じているのが現状です。水質浄化や土壌浄化、また余剰バイオマスの有効利用などのニーズが世界中で増え続けており、世界の環境産業は2025年には250兆規模の市場に拡大すると予測されています。

当センターは、琵琶湖を持続可能社会・環境のモデルケースとして、琵琶湖から得られた環境技術研究成果や新たな知見を「琵琶湖モデルの環境技術研究」として世界に展開することを目指しています。具体的には、琵琶湖および周辺水域、また広く世界の湖沼・水域・流域環境の環境保全・改善を図るべく、水・土・大気の3つの環境要素を中心に、学部学科横断型・複合的な研究を実施しています。

本セミナーでは、これまでの水圏環境、土壌環境、大気環境などに関連する研究の成果を社会実装という観点を踏まえてご紹介いたします。

記

**日 時** : 2022年3月23日（水）14:00～16:30（受付開始 13:50）

**開催方法** : オンライン（Zoom ウェビナー）

**参加費** : 無料（事前申込制）

**申込方法** : <http://www.ritsumei.ac.jp/events/detail/?id=1099> の申込フォームからお申し込みください。申込フォームにてご登録後、招待メールをお送りいたします。  
※当日参加可能です。

**共 催** : 立命館大学琵琶湖・環境イノベーション研究センター

※詳細は別紙をご覧ください。

以上

本リリースの配布先 : 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 BKC リサーチオフィス 担当:堀井

TEL.077-561-2802

別紙

【プログラム】

14:00-14:10 開会挨拶

久保 幹(立命館大学生命科学部 生物工学科 教授、琵琶湖・環境イノベーション  
研究センター長)

14:10-14:30 「紫外線利用の拡大:水の消毒から有害物分解・空気と表面の清浄化へ」

神子 直之(立命館大学理工学部 環境都市工学科 教授)

14:30-14:50 「臭気の評価と制御ー快適な空気環境の創出に資する要素技術ー」

樋口 能士(立命館大学理工学部 環境都市工学科 教授)

14:50-15:10 「コロナウイルス感染の数値シミュレーションのための2次元環境モデルの構築」

大上 芳文(立命館大学理工学部 機械工学科 教授、琵琶湖・環境イノベーション  
研究センター 副センター長)

15:10-15:30 「安心、安全、安価なヘドロ分解技術の実装へ向けて」

今中 忠行(立命館大学総合科学技術研究機構 上席研究員)

15:30-15:50 「森林生態系の物質循環機能の評価と修復ー琵琶湖の環境浄化に向けてー」

荒木 希和子(立命館大学生命科学部 生物工学科 講師)

15:50-16:10 「地域課題解決のためのIoTシステムの研究開発」

山本 寛(立命館大学情報理工学部 情報理工学科 教授)

16:10-16:20 閉会挨拶

惣田 訓(立命館大学理工学部 環境都市工学科 教授、  
琵琶湖・環境イノベーション研究センター 副センター長)